



地域の防災拠点となる建物づくり

達成目標



横浜市内やその近辺にある空き家を利用し、
災害に強い建物に再生、再利用することを目的とします。

地震に備えた建物に再生

耐震補強工事の実施により地震に強い建物に再生し、太陽光発電システム、蓄電池の設置により再生エネルギーを利用して停電時でもある一定の電力をまかなえる設備を設けます。



災害に備えた建物に再生

受水槽や貯水タンクの設置により断水時でもある一定の水が利用できる設備を設けます。

災害備蓄品なども常備した防災拠点として地域の方が安心できる建物に再生し、再利用します。



今後の目標

2030年までに 4棟の再生を目標としています。